

# テープカートリッジの 取り扱い注意

Revision : 03

一般社団法人 電子情報技術産業協会  
テープストレージ専門委員会  
2025/06



# 1. 使用環境上の注意

- ◆テープカートリッジはデータを記録するデータカートリッジと、ドライブ内部を清掃するクリーニングカートリッジが販売されています。
- ◆外部から持ち込まれたテープカートリッジの使用、もしくはテープカートリッジを外部へ持ち出す時は、急激な環境変化からの影響をさけるため、外部に置かれた時間と同程度の時間を目安にテープカートリッジを使用環境になじませてから、使用するようにしてください。  
急激な環境変化は、テープの巻き状態を不安定にしたり結露したりし、エラーの発生や寿命を短くする原因になることがあります。

例： 外部で4時間→4時間程度なじませる。  
外部で1日以上→半日程度なじませる。

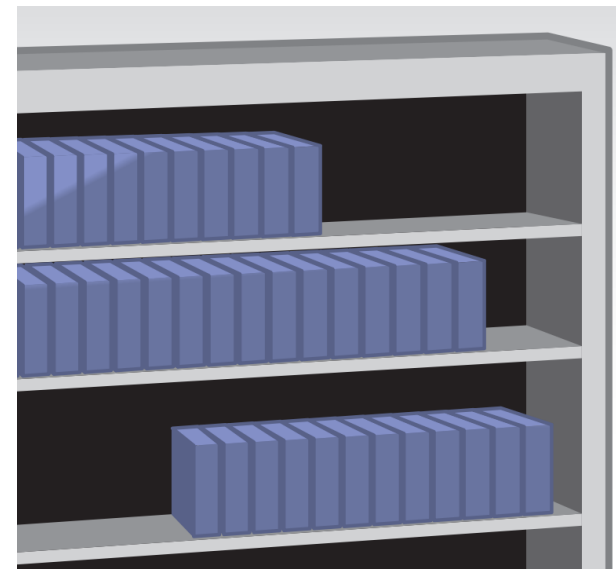
<結露の例>



- ◆テープカートリッジを使用する場合の環境条件は、メーカー各社にお問い合わせください。

## 2. 保管環境上の注意

- ◆データカートリッジを長期間保管するときは、データカートリッジを付属のケースに収納の上、保管してください。
- ◆ゴミ・ホコリの多い環境で保管しないでください。
- ◆直射日光の当たる場所では、温度上昇に注意してください。
- ◆記録済み、未使用品にかかわらずデータカートリッジは、保管条件を満足する環境で保管してください。
- ◆データカートリッジを保管する場合の環境条件は、メーカー各社にお問い合わせください。



### 3. 輸送上の注意

- ◆データカートリッジを輸送・運搬する場合は、輸送中の強い衝撃からデータカートリッジを守るために、付属のケースに入れ、さらに緩衝材等により包装し適切な大きさの箱に入れてください。(可能であればデータカートリッジを垂直な状態で収納してください。)
- ◆データカートリッジ輸送用の専用ケースも市販されていますので、ご利用ください。
- ◆直射日光を避け、常温での輸送をお勧めします。
- ◆開梱時の急激な温度変化による結露を避けるために、十分にその部屋の温度になじませてから開梱ください。(1項 使用環境上の注意参照)
- ◆空港のセキュリティ検査のX線照射は問題ありません。



# 4. ラベルの取り扱い

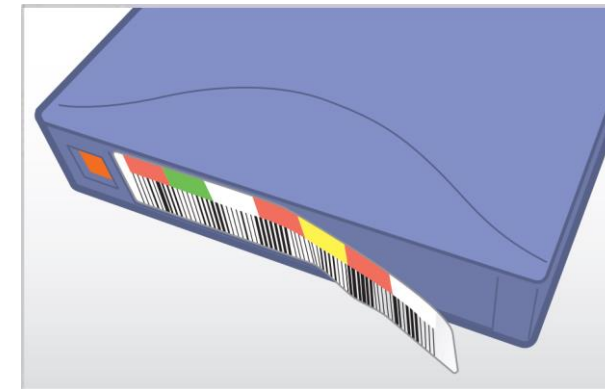
## ◆ラベルの選択

テープカートリッジに貼付するラベルは、接着性の良いラベルを使用することが重要です。品質が悪いラベルを使用すると、使用中にラベル剥がれ等が発生し、ドライブやライブラリー装置内で障害が発生することがあります。

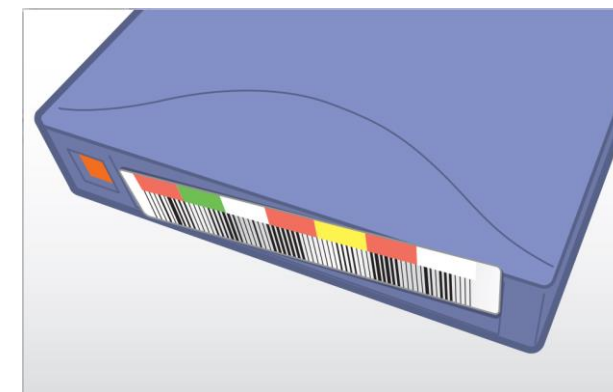
必ず、カートリッジに添付されているラベルまたはシステムメーカーやメディアメーカーが推奨するラベルを使用してください。特にバーコードラベルについては、システムとの互換性を確保するためにシステムメーカー推奨のバーコードラベルをご使用ください。

## ◆ラベルの貼り方

ラベルは所定の位置からはみ出さないようにきちんと貼る必要があります。所定以外の位置や場所にラベルを貼ると、ドライブやライブラリー装置内でラベルが剥がれる等のトラブルやバーコードの読み取りエラーが発生したりします。



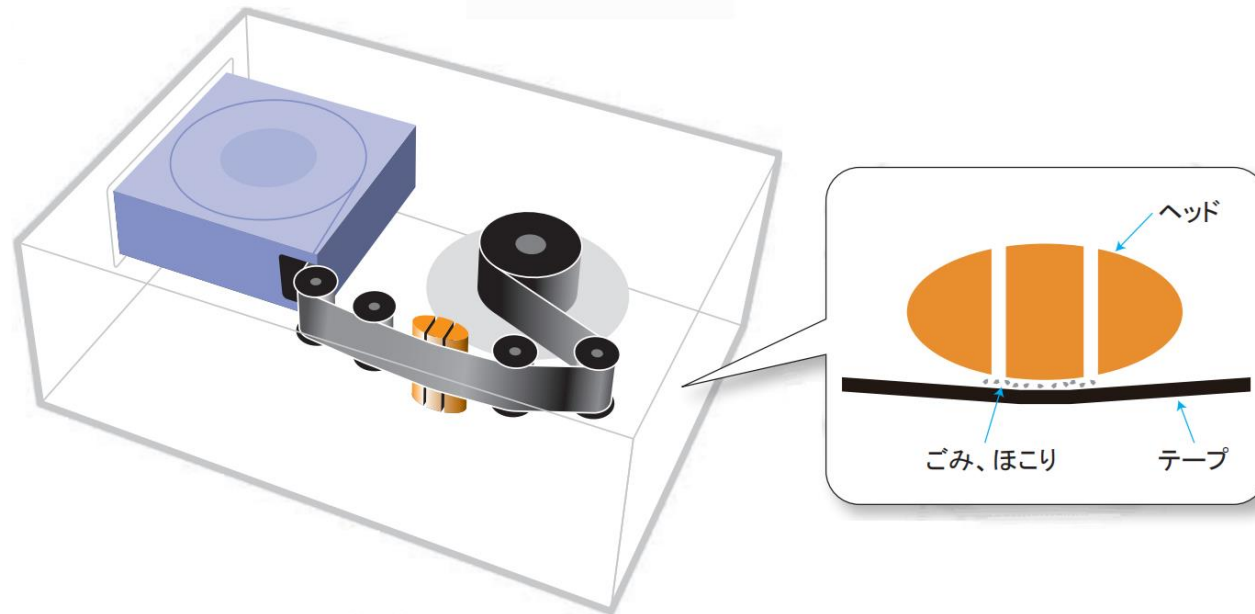
＜ラベル剥がれの例＞



＜ラベルはみ出しの例＞

# 5. クリーニング

- ◆磁気テープ装置ではごみ、ほこりが磁気テープとヘッドの間に入ると、性能低下やエラーの原因になる場合があります。更に、その状態で使用を続けるとごみ、ほこりがヘッドに蓄積し、クリーニングカートリッジでは除去できません。このため、クリーニングカートリッジで装置のテープガイドや磁気ヘッドを定期的に清掃することが重要です。



## その他注意点

- ドライブがクリーニングを要求したらクリーニングを行ってください。
- クリーニングカートリッジは規定回数に達すると再使用できません。  
※規定回数は装置によって異なります。機器の取扱説明書やメーカーのホームページを参照してください。

## 6. 落下防止

- ◆テープカートリッジには磁気テープの他に精密な部品や電子回路が使われている商品もあります。  
また、落下により怪我をする危険もありますので落下させない様、取り扱いには十分注意してください。
- ◆落下するリスクを最小にするために、テープカートリッジを保管又は移動させる際は、テープカートリッジを高く積み上げないでください。  
また、落下した場合のダメージを軽減するために、保管、移動の際は、付属のケースに入れるようにしてください。
- ◆落下させてしまった場合、外観に異常がなくともテープカートリッジがダメージを受けている可能性がありますので、継続使用は控えてください。  
例えば、LTOの場合、リーダーピンが正しい位置からずれている可能性があります(右図参照)。

